

都立青梅総合高等学校 全日制課程

NEWS 53 VR(Virtual Reality=バーチャル リアリティ)防災車を利用した防災訓練を実施しました。

6月18日(金)5・6限及び放課後にかけて、第2学年生徒が防災訓練を実施しました。

緊急事態宣言下、青梅市役所及び青梅消防署と連携して、VR防災車を利用した体験を含め、起震車体験、救護訓練及び防災講話を実施しました。VRを活用することで、生徒がより臨場感を味わうことができ、災害に対する意識を高めることができました。

本来は、地域の方にも参加していただく予定でしたが、緊急事態宣言下のため、見送りました。

講評のなかで、参加した生徒の真剣に訓練に臨む姿を、講師の先生から評価していただきました。



## NEWS 59 地域との合同避難訓練を実施

7月4日(日)午前、本校、青梅消防署、青梅市及び本校周辺5自治体が連携した合同避難訓練を実施しました。立川断層を震源とする地震の発生を想定し、住民それぞれの自宅から避難所(本校)まで避難することを想定しました。その後、青梅市、青梅消防署日向和田出張所職員による講話、避難用保存食の配布等を行いました。116名(うち教員16名)が参加した訓練は、改めて学校と地域住民が自助・共助・公助の重要性を確認する機会となりました。参加した教員は、学校の危機管理マニュアルについて確認するとともに自身の役割について理解を深めることができました。

今回、生徒は、新型コロナウイルス感染症対策のため不参加としましたが、ホームルーム活動や集会等において、地域との合同避難訓練の様子を生徒へ伝え、防災意識の向上を図っていきます。



## NEWS 94 韓国文化体験実習の実施

9月28日(火)、科目「ハングル(発展)」において、韓服体験実習を行いました。

2年間学習する同授業のなかで、生徒一人一人が、衣装の色や柄、髪飾りの種類など自ら選び、披露する内容です。生徒からは、「衣装のほかに挨拶や作法なども学ぶことができ、充実した時間となった。」「今後もハングルの勉強を続け、将来、通訳者として日韓の架け橋になりたい。」などの前向きな感想が多く寄せられました。国際交流リーディング校として、新しい日常においてもできることを模索しながら、教育活動を行っていきます。



## NEWS 129 本校教員が文部科学大臣賞を受賞！

令和4年1月13日、文部科学大臣優秀教職員表彰式が開催され、本校英語科今井陽子主任教諭が、文部科学大臣賞を受賞しました。同主任教諭は、前任校である秋留台高等学校において、東京都教育委員会が指定する「学びの基盤」プロジェクトのワーキンググループ研究校の中心メンバーとして活躍しました。その結果、学習活動に課題を抱える生徒が自ら学ぶ力を向上させるため、ICTの活用やユニバーサルデザインの視点を取り入れた教材開発、授業研究、教員研修及び外部機関との連携に実績を上げました。

今後、同主任教諭は、ユニバーサルデザインに基づく授業づくりや分掌運営、生徒が自己理解や課題解決に粘り強く取り組む探究の授業などの研究に向けて意欲を高めており、益々の活躍を期待しています。



## NEWS 138 経営企画室と教員が連携した課題解決

総合学科である本校は、農業に関する科目を学ぶことができるため、実習で使用する約560㎡の演習林があります。

演習林に隣接する地域住民からは、「木が伸びてきて道路をふさいでいる。」「木が生い茂り自宅の日当たりが悪くなった。」など、演習林の管理について、多くの要望や苦情が寄せられる状況でした。

そこで、経営企画室の施設担当者に加え、樹木の専門的知識をもった農業実習に直接携わる実習助手とが連携し、演習林に隣接する地域住民を訪問して、要望等を丁寧に聞きながら対応策を提案するなどし、次期の樹木剪定の作業に反映させました。

その結果、これまで地域住民から寄せられた苦情が全くなくなりました。

今後も経営企画室と教員とで連携して、地域から一層信頼される学校として努めていきます。

